

く る み

THINK&TALK
地域における医療と神社
正月祈禱のご案内



ごあいさつ

新型コロナウイルスの感染拡大が中々止まらず、長期化するにつれて医療や経済、教育などの国民生活に及ぼす影響は計り知れないものになっています。

笠間稲荷神社には全国各地にご崇敬者がおられ、毎年数多くのご参列者の下で盛大な祭典が執り行われていますが、感染防止の為にこれまでは規模を縮小してお祭りが続いてきました。今後は、国や各自治体の自粛要請緩和の動きに合わせ、細心の注意を払いながらご参拝者のことを思い、少しずつ元の状態へ戻していきたいと考えております。

この困難な状況の中で日々献身的な対応にあたられておられます医療従事者をはじめとしたご関係の皆様に深く感謝申し上げますと共に、この度の豪雨災害等で被害に遭われました方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、本年は日本書紀編纂千三百年の記念すべき年にあたります。国内向けの古事記に対し、日本書紀は日本の国威を示し、国際的地位を高めるために、国外向けに編纂された歴史書だと言われています。そのため、当時の東アジアの共通語であった漢文で書かれ、記述法も中国の史書にならって年代順に出来事を書いていく編年体を概ね用いています。

古代の東アジアでは日本列島に暮らす人々のことを倭人と言い、その地域を倭と称していました。倭というのには背が曲がり、小さくて弱々しいという意味の侮蔑的な言葉でした。その倭を日本に変え、それにふさわしい統治者の称号をこれまでの大王から天皇へと改めました。日出ずる国、日の本の国には立派な歴史がある

ことを知らせるものが日本書紀でした。神道という語が初めて使用された日本書紀には神々からその子孫としての天皇につながる系譜や歴代の天皇についての詳細な記述がありますし、様々な異説についてもあえて統一することはせずに、客観的に列挙されています。ぜひ一読していただきたい史書です。

また、今上天皇陛下が即位されました令和元年は山崎闇斎生誕四百年のおめでたい年でもありました。闇斎は日本書紀や当社で斎行しているわが国最古の祓いである中臣祓を重んじ、伊勢神宮に参詣して信仰を深め、垂加神道を唱えた神道思想家です。垂加とは闇斎の号で、天照大御神の神勅の正直で清浄な心をもって祈れば、神々はお恵みを下される（神垂・祈禱、冥加・正直）ということに由来するものです。天照大御神とその子孫の天皇による統治の道が神道であるとし、皇統や君臣関係を重視しました。人間には神の霊が内在しており、神と一体となるために心身の清浄を保つようにすべきだとも説いています。

わが国は、国家意識に芽生えて七世紀の後半には日本という国号を用いて体制を整えていきました。日本の読み方については「ニホン」と「ニッポン」の二通りがあります。戦国時代に来日したイエズス会の宣教師たちが残した記録や辞典によるとふだんの生活の場では「ニホン」と言い、特別な時や改まった場では「ニッポン」と言っていたようです。政府は両方とも広く通用しているのでどちらか一方に統一する必要はないという立場をとっています。

私たちは皇室を中心とする麗しい日本の歴史と文化を継承しながら誇りある国づくりを進めていくことが大切で、そのことを憲法の中にも反映させていきたいものです。

笠間稲荷神社 宮司 埴 東男

新型コロナウイルス感染症に関するご報告と 感染拡大防止対策協力をお願い

新型コロナウイルス感染症が世界規模で流行し、令和二年四月には茨城県を含む七都府県に緊急事態宣言が発令（後に全都道府県に拡大）され、不要不急の外出自粛を余儀なくされるなど、これまでの日常生活が一変し、新しい生活様式が求められております。

当社では令和二年三月より御崇敬者の皆さまの安全と感染症拡大防止の為、次の通り祭事の縮小斎行、またはやむを得ず斎行見送りと致しましたことをご報告申し上げます。

三月 八日	絵馬祭・絵馬炎上祭のみ斎行 絵馬回収行列・絵馬コンクール 表彰式中止
四月 九日	例大祭 献幣使・職員・総代のみで斎行 献香・献茶・献筆・野点の奉仕中止
五月 十日	御田植祭 職員・総代のみで斎行 早乙女・舞姫・歌姫の奉仕中止
五月二十五日	講社大祭 斎行見送り
六月二十八日	車の茅の輪くぐり 斎行見送り
六月 三十日	夏越の大祓 直会・蕎麦の振る舞い中止
九月二十二日	小笠原流三々九手撲式 規模縮小
十月 十五日	尚齒祭 斎行見送り 奉告祭斎行
十月十七日	笠間の菊まつり 規模縮小
十月二十六日	本宮祭 直会中止
十一月 二日	神事流鏑馬 斎行見送り

また境内・社務所における感染症拡大予防のため次の通り対策を行っております。

- ・手水舎の柄杓撤去
- ・各所に手指消毒液の設置
- ・祈祷受付所、授与所に飛沫防止シートを設置
- ・マスク着用にて崇敬者対応
- ・御祈祷者控室内の座席数減、使用後の消毒
- ・拝殿内の胡床は職員が設置し間隔を広く取り、使用後は消毒
- ・直会提供時、間隔を確保できるよう長卓を使用
- ・祈祷後の御神酒提供中止
- ・建物内換気の励行
- ・境内喫煙所（灰皿設置場所）の縮小

緊急事態宣言下では、笠間稲荷美術館の臨時休館（四月二十六日～五月七日迄）や祈祷直会膳提供の中止の判断をし、ご来社の皆さまにはご迷惑をおかけ致しましたことお詫び申し上げます。

今後の祭事に関しまして、皆さまに安心してご来社いただけますよう、感染拡大状況に応じて都度変更や縮小、制限等対策を取らせていただきます。当社及び東京別社（日本橋浜町）の最新情報は神社公式ホームページ、公式インスタグラムで随時お知らせいたしますので、ご理解ご協力くださいますようお願い致します。



▲柄杓なしで利用できるように竹筒を取り付けた手水舎



▲飛沫防止シートを設置した祈祷及び御朱印受付所



▲飛沫防止シートを設置した東京別社受付・授与所

マスク・フェイスシールド・

アルコール消毒液の奉納者芳名

- ◆ 東京都中央区 株式会社大松 殿
- ◆ 埼玉県草加市 株式会社長谷川製作所 殿
- ◆ 三重県伊勢市 株式会社漆 殿
- ◆ 京都府京都市 株式会社秋江 殿
- ◆ 茨城県笠間市 徳藏 常松 殿

マスク等は感染症予防対策に大切に使用させていただきます。御奉納賜りました皆さまには衷心より感謝申し上げます。



笠間稲荷神社公式ホームページ
<http://www.kasama.jp/>



公式Instagram
Kasamainari.official



第34回

地域における医療と神社

医師／村田 実 氏

笠間稲荷神社 宮司／塙 東男

国難を乗り越切るために 今、私たちにできること

感染症流行における 変化と対応

塙 まずは、水戸済生会総合病院の名誉院長のご就任おめでとうございます。

村田 ありがとうございます。塙宮司とはかれこれ10年以上のお付き合いになるでしょうか。宮司には茨城県済生会の理事をやっていたいていますし、地元の方々が集まる有志会にもお招きいただいたりして、大変お世話になり、ありがとうございます。

塙 こちらこそ、本日はお忙しいところ対談のお時間をいただきありがとうございます。ところで先生は、プライベートルでも笠間稲荷神社に何度もいらしていただいているとか。

村田 ええ。桜川市出身ということもあって、笠間稲荷神社にはたびたび参拝しています。初詣や初孫のお宮参りもこちらでさせていただきまして、県外からのお客様をご案内することもあります。ですから、非常に親しみを感じている神社の一つです。今年は感染症流行の影響で多くの神社仏閣が例祭などを中止されていますね。笠間稲荷神社

笠間稲荷神社 宮司

塙 東男



はいかがですか？

埴 大勢の方が集まる祭事に
ついては、今年はやむなく役
員、総代並びに職員で執り行
いました。拝殿でのご祈祷は
受け付けていますが、控室も
拝殿も崇敬者の方々がそれぞ
れ十分な距離を空けて座れる
よう留意しています。

このほか、消毒液の設置、
職員の検温・マスク着用、窓
口にビニールカーテンを設置
するなどの感染症対策も徹底
的に行っています。水戸済生
会総合病院はいかがでしょう
か。医療現場は特に大変だっ
たのではないですか。

村田 そうですね。いまだ大
変な状態が続いています。当
院でも感染症の患者さんを受
け入れましたが、そのために
一つの病棟を丸ごと感染症の
患者さん専用にし、四十数人
からなる専従チームを配置し
ました。感染症の対応には人
員もスペースも相当必要です。
そのため、病院は人手不足、
病床不足に陥っています。

患者さんの病院離れも懸念
事項の一つです。診療が必要

な患者さんが、院内での感染
を恐れて来院されないのです。

埴 それは心配ですね。

村田 はい。いずれにしても、
2月の感染拡大以降、気が抜
けない状況が続いています。

正しく恐れて 思いやりを忘れない

埴 感染症拡大はいわば国難
です。これはいつまで続くの
でしょうか。また、乗り越え
るために私たちに何ができる
のでしょうか。

村田 私は感染症の専門家で
はありませんから、あくまで
個人の見解として聞いていた
だきたいのですが、ワクチン
ができて必要な量が行き渡る
まではもう少し時間がかかる
のではないのでしょうか。この
ような先行きが見えない状況
下にあつて大切なのは、「正し
く恐れる」ことだと私は考え
ています。

埴 正しく恐れる、ですか？

村田 ええ。感染しない、そ
して感染させないよう、十二
分に気をつけて行動すること

はもちろん大事です。ただ、
感染を恐れるあまり、感染し
てしまった人を攻撃するよう
なことがあつてはいけないと
思うのです。

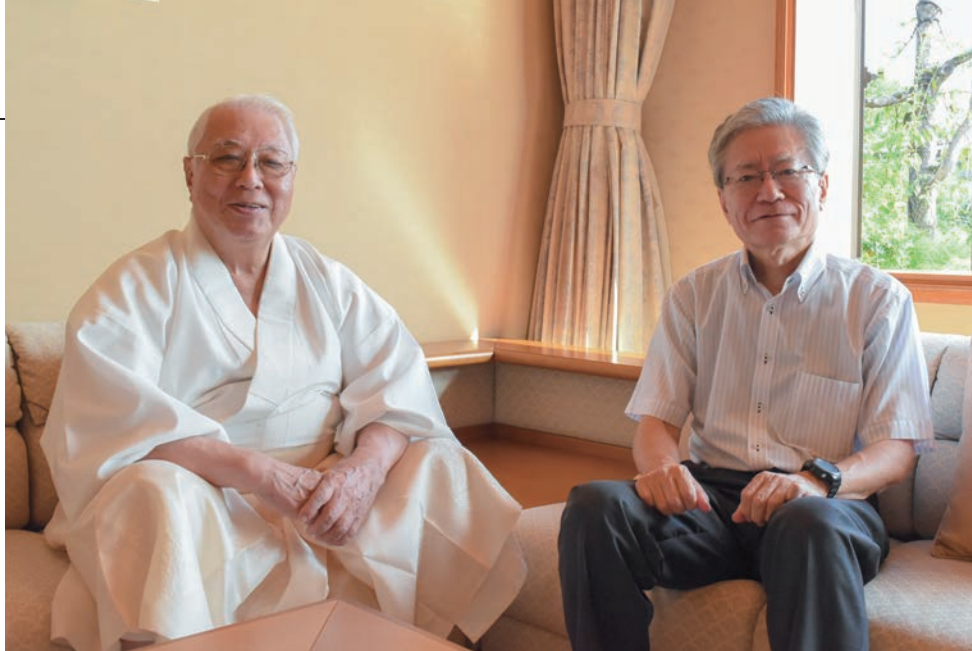
埴 医療従事者やその家族が
差別的な扱いを受けるという
問題も起きていますね。

村田 はい。家族を感染から
守りたいという気持ちとはとて
もよくわかります。けれども、
医療従事者もこの未曾有の事
態を何とか収束させようと懸
念に働いています。ぜひとも
暖かく見守っていただき、ご
支援をたまわればうれしく思
います。

村田 実氏

水戸済生会総合病院 名誉院長
1978年、新潟大学医学部卒業。1980年、新
潟大学第一内科にて循環器内科医師として
のキャリアをスタートする。1985年、日本
心臓血圧研究振興会 榊原記念病院にて研
究員として勤務。1989年、水戸済生会総合
病院 循環器内科主任部長に着任。2009年、
水戸済生会総合病院 病院長に就任。2020
年より現職。





塙 こういうときだからこそ冷静になり、助け合い、支え合う気持ちを大切にしたいものです。

村田 はい。また、先ほども申し上げたように、院内感染を恐れて診療が必要なのに来院されない方もいらっしゃると思います。これは非常に心配です。

さらにいえば、人々がパニックになって経済活動がストップしてしまうと困窮される方も大勢いらっしゃるでしょう。**塙** だからこそ、「正しく恐れる」ことが重要なのです。

精神的支柱としての 神社の役割

村田 医療機関には、人々の健やかな暮らしを守るという役目があります。一

方、神社には、地域の人たちの心を支えるという、これまたとても重要な役割があると感じています。**塙** 宮司はどのようにお考えですか。

塙 先生のおっしゃる通りです。現在のよう



う、心の平安を保ってききました。医療が発展した現代においても、毎年6月の晦日と12月の大晦日には大祓式が斎行され、大勢の方が参加されます。大祓式は、普段の生活において、知らず知らずのうちに犯してしまった罪や触れてしまった穢れを祓い、心身を清める古式ゆかしい神事です。また折々に病氣平癒の祈禱なども行われています。昔も今も、大きな災いが起こったとき、神社は人々の心の支えとなってきました。

また、大祓式からもわかるように、神道では心身の清浄

を尊びます。神社に参詣する際は手水舎で手と口をすすいでいただきますし、ご祈禱では大麻を振って心身の穢れを祓います。日本は感染症による死亡者が少ないといわれていますが、清潔を重んじる日本古来の文化の影響もあるのではないかと感じています。

村田 それはあるかもしれません。日本でうがい・手洗いの習慣が広がったのは、科学的な根拠があつてというよりも、きれいな好きな国民性で、「手洗いやうがいは病気の予防にいい」という経験に基づいてのことでしょう。それが今、感染症の拡大防止に役立っていると考える専門家は少なくありません。

塙 たとえ感染症が収束しても、日本人が学校で、また家庭で教え伝えてきたうがい・手洗いの習慣は続けていくたいものですね。

地域の未来のために 役目を果たす

塙 神社が地域の人たちの精

神的支柱だとするなら、水戸済生会総合病院は地域医療の要です。今回の感染症流行で病院はとても厳しい状態にあると思いますが、今後の展望などありましたらお聞かせください。

村田 病院は大切な命を預かる場所です。ですから、まずは院内感染が起らないよう、今後も対策を徹底していくことが最も重要と考えます。また、水戸済生会総合病院には総合周産期母子医療センター、救命救急センターがあり、地域の周産期医療と救急医療の中核的機能を担っています。そのための体制づくりをいっそう進めていく必要があります。

埴 先生をはじめとする医療従事者の方々の使命感とご尽力には本当に頭が下がります。

村田 そういつていただけると私にとっても病院のスタッフにとっても大変な励みになります。もう一

点、これは個人的な考えですが、今回の感染症拡大が地域医療構想を見直すきっかけになってくれたらと思っています。地域医療構想は、少子高齢化時代を見据え、効率的な医療提供体制を実現するための取組みで、その一つに病床数の削減があります。人口が減ればその分病床が余るから、段階的に減らしようというわけです。

ただ、地域医療構想は、今回のように感染症が大規模に起きた場合は想定していません。病床数が減った状態でパデミックが起きたらどうな

るか。この点をもう一度、議論していただけたらと思っているのです。

埴 それはぜひ、しっかりと議論していただきたいですね。

村田 ええ。笠間稲荷神社はいかがですか。感染症の影響で一時期は参拝を中止した神社もあったと聞いています。

埴 感染を拡大させないよう、「密」を避ける対策はしっかりと取るべきです。一方で、こんなときだからこそお参りたいという皆さんのお気持ちにもできるだけ応えたいと思っています。「感染症が早く収まりますように」「感染しませんが」に願う人々の想いに寄り添う事は、私たち神社の役目の一つですから。

村田 現代は、科学文明が高度に発達し、個人が尊重される時代です。それはもちろんすばらしいけれども、孤独感にさいなまれて、心のバランスを失ってしまう方もいます。感染症の拡大で不安を抱えている方も多いでしょう。そうした状況にあって、神社やお寺は人々の心のよりどころで

あると思うのです。

また、笠間稲荷神社は地域観光においても長く中心的な役割を果たしてこられていまずし、地域振興の要としての期待も大きいように思います。

埴 おっしゃる通りです。当社は日本三大稲荷の一つに数えられていまして、年間を通じて大勢の観光客がいらっしやいます。今年6月には笠間焼が益子焼とともに日本遺産に認定され、当社はもちろん笠間市、そして益子町の神社や史跡も遺産の構成文化財に指定されました。今後はこうした文化財とうまく連携しながら、笠間、ひいては茨城の観光や産業を盛り立てていければと考えています。

村田 病院と神社、それぞれが役割を一生懸命に果たして、地域に貢献していきたいですね。

埴 はい。尽力したいと思っております。本日はお忙しい中ありがとうございました。



祭事予定

令和二年

十月

十五日 尚齒祭
十七日 神嘗奉祝祭
菊まつり開場式

二十六日～二十八日

本宮祭

十一月

三日 明治祭
十五日 霜月祭
二十三日 新嘗祭・献穀献繭祭

新嘗祭・献穀献繭祭

「新嘗祭（にいなめさい）」は、宮中においてその年の新穀を神々に供え、と共に、天皇陛下がその年の新穀を初めて召し上げられる祭典です。全国の各神社においても新穀を神前に供え、祀が行われます。

当社では、「献穀献繭祭」と称し、新穀、新繭が神前に供えられる他、献穀品、献繭品の品評会が実施されております。

十二月

二十一日 御火焚串炎上祭
二十八日 鹿島祓
三十一日 大祓式



御火焚串炎上祭

令和三年

一月

一日 歳旦祭
三日 元始祭
五日 新始祭

七日 昭和天皇祭遙拝式
十日 初事比羅祭
十四日 尖閣諸島安全祈願祭
十五日 古札炎上祭
十六日 初甲子祭
二十二日 御本殿置奉納奉告祭
二十五日 初天神祭

二月

二日 節分追儺式
三日 初午大祭
七日 北方領土返還祈願祭
八日 針供養祭
十一日 紀元祭
旧大祓式
十二日 旧歳旦祭
十四日 祈年祭・初穂講大祭
二十三日 天長祭

節分追儺式

笠間稲荷神社では節分の日、午後三時と午後七時の二回、神事節分追儺式を行います。「節分祭」は冬の節から春の節に移る立春の前日に行い、悪疫退散・除災招福を祈る神事です。

当社の節分追儺式は拝殿においての祭典終了後、境内の特設撤豆台におい

て神職が古式に則り、桃の弓、芦の矢、桃の杖で追儺式を行います。



節分追儺式



初午大祭

初午大祭

旧初午大祭

初午大祭とは、新暦・旧暦ともに二月の最初の午の日に行われるお祭り

で、「事始め」「仕事始め」の日として大切にされています。

当社ではこの初午の日に毎年収穫される穀物の豊作と商工業をはじめすべての物事が順調に発展することを稲荷の大神様に祈願し、国家と国民の安泰を祈ります。

三月

中旬 絵馬祭・絵馬炎上祭

二十日 春季皇霊祭遙拝式

二十三日 旧初午大祭

四月

三日 神武天皇祭遙拝式

九日 例大祭

二十九日 昭和祭

五月

十日 御田植祭

下旬 本宮祭

御田植祭

笠間稲荷神社では、毎年五月十日、稲荷神社御神饌田において古式ゆかし

く御田植祭を斎行します。御田植祭はその年の豊穡を祈願するとともに、稲荷の大神様に毎日御供えする御米（みけ）を栽培する稲苗の植付けの神事であり、由緒ある重儀として厳修しています。

六月

下旬 車の茅の輪くぐり

三十日 夏越の大祓

茅の輪くぐり



夏越の大祓

本年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、神事流鏝馬の斎行は見送りとなりました。

各祭事は変更となる場合がございます。最新情報は神社ホームページをご覧ください。
社務所（0296-73-0001）までお問い合わせ下さい。

ホームページ▶



令和三年 正月祈禱のご案内



皆さまに安全に御祈禱をお受けいただく為、
以下の感染症予防対策にご理解をお願いいたします

- 風邪、発熱症状(37.5度以上)及び下記の症状に該当する方はご来社をご遠慮ください。
【咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐】
- 新型コロナウイルス陽性とされた方との濃厚接触がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、ご来社をご遠慮ください。またできる限り**少人数でのご来社**にご理解をお願いいたします。
- 手指消毒液をご利用いただき、控え室、拝殿内では**マスクの着用**にご協力をお願いいたします。
- 正月三が日、土日祝日、また元旦深夜一番祈禱及び午前10時～午後1時までの御祈禱は大変混み合います。できる限り混雑時間帯を避け、平日のご来社をご検討ください。
- 混雑時間帯は**密集回避のため、ご昇殿をお待ちいただく場合がございます**のでご了承願います。
- 玉串奉奠は斎主のみ**といたします。斎主にあわせてご拝礼ください。
- 1月1日～1月末日まで直会膳の提供は中止**いたします。

上記対策は状況によって変更することもございますので皆さまのご協力をお願い申し上げます。

令和三年の新春初祈禱の事前申込みを受け付けております。

お申し込みは **①直接来社** **②インターネット**

③FAXにて承っております。

ホームページ▶<http://www.kasama.or.jp/>

FAX▶〇二九六―七三―〇〇〇一



▶祈禱申込フォーム

◆祈禱時間◆

一月 一日 午前〇時～午前五時

午前七時～午後五時

二日、三日 午前八時～午後五時

四日～七日 午前八時～午後四時

※一時間ごとに斎行しております

※事前申込み済みの方も祈禱開始の十五分前までにはご来社願います

※当日のお申し込みは、混雑状況により次の祈禱時間までお待ちいただく場合がございますのでご了承ください

◆初穂料◆

五千元・七千元・一万元
二万円・三万円・五万円
十万円・二十万円・五十万円他

◆お願いごと◆

初穂料五千元より

- ・五穀豊穰
- ・病氣平癒
- ・家内安全
- ・開運招福
- ・商売繁栄
- ・身体健全
- ・交通安全
- ・学徳成就
- ・厄除
- ・合格祈願
- ・方位除
- ・就職祈願
- ・心願成就
- ・良縁成就
- ・社運隆昌
- ・工場安全
- ・工事安全
- ・海上安全
- ・大漁満足
- ・町内安全
- ・旅行安全
- ・酒造繁栄
- ・養蚕繁栄
- ・講中安全
- ・安産祈願
- ・御礼 他

初穂料七千元より

- ・初宮詣
- ・七五三詣
- ・家内・商売・交通
- ・家内・交通
- ・商売・交通

東京別社からの
お知らせ

鎮座地…中央区日本橋浜町二―十一―六

当社東京別社では令和三年正月祈禱の事前申込みを受け付けております。

お申し込みは **①直接来社** **②**

電話 **③FAX**にて承っております。

電話▶〇三―三六六―七四九八
FAX▶〇三―三六六―七四三八

※事前申込みをされた場合でも、体調の優れない方、発熱症状のある方はご来社をご遠慮ください。ご予約日の変更を承ります。※ご来社の際はマスクの着用、手指消毒液の利用等感染症予防対策にご協力をお願いいたします。※混雑時間帯は密集を避けるため少々お待ちいただく場合がございますのでご了承ください。



お問い合わせ先
☎ 03-3666-7498

郵送による御祈祷のご案内

詳しくは当社ホームページを
ご覧下さい→



当社では、ご遠方にお住まいの方や諸事情によりご来社が叶わない方、また新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み御祈祷札の郵送を承っております。以下の方法でお申し込みの上、現金書留にて御祈祷料と送料を神社までお納め願います。

申込方法①

当社ホームページの御祈祷申込みフォームに必要事項をご入力ください。

その際、祈祷方法は【郵送】をご選択ください。
御祈祷料と送料を現金書留にてお納めください。
※申し込み完了時に自動返信メールが送信されます。
受信制限やメールアドレスの入力間違いにご注意ください。

申込方法②

インターネットのご利用が難しい方は、以下の必要事項を紙に書き添えて、御祈祷料・送料と共に現金書留にてお納め下さい。

必要事項【お願いごと・お名前・初穂料・送付先住所・電話番号・生年月日】

※申込内容に不明な点がある場合、神社より確認のお電話をいたします。

送 料

御神札1体：600円、同一送付先2～4体：1,000円、5体以上：1,500円

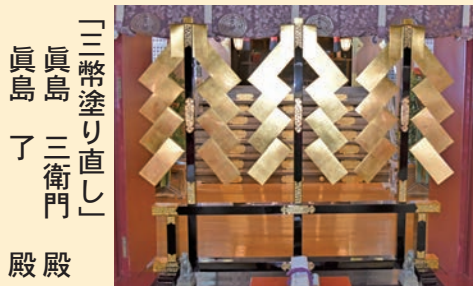
現金書留送付先

〒309-1611 茨城県笠間市笠間1番地 笠間稲荷神社社務所 宛
TEL0296-73-0001

現金書留到着後、速やかに御祈祷申し上げ、御神札を送付いたします。なお、令和3年新春初祈祷をお申込みの場合は平常時よりも御神札のお届けに時間がかかる場合がございますのでご了承ください。



「浦安の舞装束 四着・檜扇 四本」
篠田 宣久 殿・篠田 満里 殿



「三幣塗り直し」
眞島 了 殿
眞島 三衛門 殿

◎奉納者芳名

当社では威儀物や祭典に用いられる祭具のご奉納を募集しております。ご奉納いただいた方のご芳名は末永く顕彰させていただきます。
詳しくは社務所までご相談ください。

奉納募集

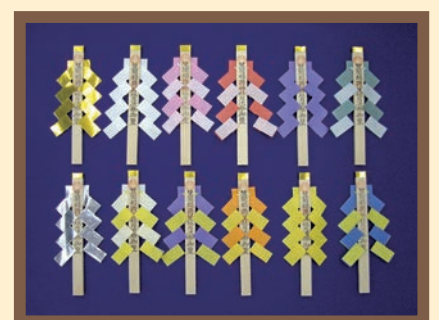
「御簾 四張・門帳 一帳」
日下部 勝子 殿



胡床、舞装束、几帳等多種に亘り受け付けております

月詣り

月詣りとは月ごとに大神様のご加護を受け、それまでの平穏無事を感謝し、新たなご神徳をいただくお詣りのかたちです。思い立った月より始めていただけますので、ご希望の方は受付までお申し出下さい。月詣りの方には神苑に咲く花を表した御幣を授与しております。



笠間稲荷神社日誌



令和二年

赤字：祭典
青字：結婚式
黒字：講中参拝・正式参拝
緑字：行事

◆一月

- 一日 **歳旦祭**
茨城日産自動車(株)
八千代講・赤坂講・高梨講
元始祭
下野小山須賀笠間稲荷講
小松稲荷講
(株)サンライフコーポレーション
新始祭
明誠講・野尻笠間講
海上芋苗組合・根崎解体工事(株)
東芝ライテック(株)鹿沼工場
昭和天皇祭遙拝式
JR水戸鉄道サービス(株)
ヤマト運輸(株)茨城主管支店
ALSO K 茨城(株)
九日 **初事比羅祭**
東大島神社初詣会
代表 宮司 内海壽之様
野田市信栄講
十一日 穂波会
(有)アイカムエクスプレス
下野小山須賀笠間稲荷講
尖閣諸島安全祈願祭
古札炎上祭
十五日 (有)秋田土木



◆二月

- 十八日 東京平和講・(株)ナテック
十九日 那須塩原市商工会高林支部
キャラエーピー(株)
石井工業信友会
二十日 **防災訓練**
二十二日 **御本殿豊奉納奉告祭**
初甲子祭
二十三日 東宝珠花上町講
二十四日 **旧大祓式**
堀の内組・野中組稲荷講
二十五日 **旧歳旦祭・初天神祭**
麻生笠間講・正徳講
笠間稲荷神社敬神婦人会
会長 檜山公江様
二十六日 下三ヶ尾笠間講・山高野講
原町講
二十七日 **神宮大麻暦頒布終了奉告祭**
笠間稲荷門前講・幸手講
二十八日 房地組合
二十九日 井沼方講
二日 弥栄講・太木講
節分追儺式
撒豆行事司奉仕
相川七瀬様・東関大五郎様
安達勇人様・七海ひろき様



- 四日 笠間友部街商組合
石の葉講・都賀町講
船形観光友の会・大山笠間講
サカイ会祈願会
七日 **北方領土返還祈願祭**
針供養祭
八日 **初午大祭**
九日 野田市蕃昌笠間稲荷講・旭市奉賛会
中峰笠間講・取手市機械工業会
並木町笠間講・網戸中宿稲荷講
川上実行組合・栃木市笠間会
紀元祭
鶴ヶ丸講
十一日 **祈年祭・初穂講大祭**
小川木材建具工業共同組合
十六日 船形笠間稲荷講
十七日 豊田稲荷講
二十一日 野田七親講
二十二日 **天長祭**
二十三日 柏市元町稲荷講
下落合笠間稲荷講
大相模笠間講
二十四日 ありむら治子後援会
二十八日 珠算教政治連盟
茨城県支部会長 小沼俊夫様



◆三月

- 一日 笠間稲荷高柳講
- 四日 旧初午大祭
阿字ヶ浦西久保稲荷講・向町笠間講
絵馬炎上祭
- 八日 心和講
- 十二日 柳沢胡桃下稲荷講
- 十五日 新型コロナウイルス感染症
流行鎮静祈願祭
- 十七日 水戸東照宮 宮司 宮本章様
- 二十日 春季皇霊祭遙拝式
甲子祭
- 二十二日 当社責任役員会・総代会
- 二十四日 幸栄親睦会
- 二十九日

◆四月

- 一日 新入職員入社奉告祭
新入職員入社式
- 三日 神武天皇祭遙拝式
- 五日 東京笠間講
- 九日 例大祭
- 十九日 東京紋三郎講
- 二十九日 昭和祭

◆五月

- 六日 新型コロナウイルス感染症
流行鎮静祈願祭
- 十日 御田植祭奉告祭・御田植祭
- 十七日 東京笠間報恩講
小鹿野笠間講
- 二十一日 甲子祭



◆六月

- 七日 長江建材工業(株)・東京あづま講
- 十五日 初雁工業(株)笠間稲荷講
- 二十七日 日本女性の会

代表 荒木榮子様

日本会議茨城女性の会

代表 八木美穂子様

- 三十日 夏越の大祓・茅の輪くぐり奉告祭
大祓式

◆七月

- 一日 水神講
- 四日 東京胡桃講
- 二十日 甲子祭
- 二十一日 当社責任役員会・総代会

◆八月

- 一日 本社御田植祭
事比羅祭・末社祭
- 二日 献燈祭
- 十日 結婚式 片田家・南指原家
- 十八日 旧大祓式

◆九月

- 十日 抜穂祭
- 十八日 甲子祭
- 二十二日 秋季皇霊祭遙拝式
小笠原流弓馬術礼法
三々九手挟式奉納



献酒御礼

毎年四月九日の当社例大祭に併せて、献酒祭を執り行っており、本年も県内の酒造家の皆様より御献酒を賜りました。本年例大祭は新型コロナウイルス感染症予防の為、職員・責任役員・氏子総代のみでの斎行でした。ここに御芳名を記し、改めて御礼申し上げます。



- 「松緑」(株)笹目宗兵衛商店・「郷乃誉」須藤本家(株)
- 「稲里正宗」磯蔵酒造(有)・「副將軍」明利酒類(株)
- 「一品」吉久保酒造(株)・「月の井」(株)月の井酒造店
- 「松盛」岡部(名)・「武勇」(株)武勇・「府中誉」府中誉(株)
- 「剛烈」(資)剛烈富永酒造店・「富士泉」藤田酒造店
- 「家久長」(株)家久長本店・「菊盛」木内酒造(資)
- 「久慈の山」根本酒造(株)・「日の出鶴」(資)井坂酒造店
- 「恵泉」嶋崎酒造(株)・「大観」森島酒造(株)
- 「富久心」(資)椎名酒造店・「牡丹正宗」(株)岡田酒造店
- 「霧筑波」(資)浦里酒造店・「白鹿」石岡酒造(株)
- 「白菊」(資)廣瀬商店・「来福」来福酒造(株)
- 「公明」村井醸造(株)・「花の井」(株)西岡本店
- 「一人娘」(株)山中酒造店・「袖美人」野村醸造(株)
- 「京の夢」(株)竹村酒造店・「大福井」結城酒造(株)
- 「稲の盛」浅川酒造(株)・「徳正宗」萩原酒造(株)

期間／10月1日(木)～11月30日(月)

①菊花御朱印帳【初穂料】2,000円

②菊花御朱印【初穂料】1,000円
※書き置きをみの授与となります。



①御朱印帳



②御朱印

秋の笠間稲荷を表現した
御朱印・御朱印帳
当社では菊まつり開催に併せて、
色鮮やかな菊花と稲荷大神様の神使
であるおきつね様を施した御朱印帳
と御朱印を頒布いたします。



日本最古
第113回

笠間の菊まつり

【会期】

令和2年
10月17日(土)～11月23日(月祝)

笠間の菊まつりのおこり

笠間の菊まつりの歴史は、日清日露戦争後、
戦争で荒廃した状態から人心を和ませるため
明治四十一年に笠間稲荷神社に農園部を設け
開催されたのがはじまりです。

笠間稲荷神社をメイン会場

菊まつり開催期間中は、笠間稲荷神社をメ
イン会場として約五千鉢の立菊、懸崖菊、千
輪咲き、古典菊、盆栽菊など多種多様で色鮮
やかな菊の花が境内を彩ります。



菊まつり 展示風景



いばらきアマビエちゃん登録施設

美術館入館時は感染症対策にご協力ください



糠白釉三彩蓋付壺(笠間稲荷美術館蔵)

■ご利用案内

開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料 一般500円 大高生400円 中小生300円

※団体20名以上50円引

※感染症予防の為、混雑時入館者数制限を実施
しています。館内人数により入館をお待ちい
ただく場合がございますのでご了承ください。

休館日 特別展会期中は無休(展示入替の為、10/14～
10/16、11/30～12/2は休館)

次回展覧会 常設展 中世六古窯展 12月3日(木)より開館します

笠間稲荷美術館

笠間市笠間39番地
電話0296-73-0001
(神社内)

江戸・明治期に作られた実用的な壺や徳利から色彩豊かな近現代笠間焼作
家の作品を中心に、益子焼を牽引した濱田庄司先生作品(協力:益子参考館)
も展示いたします。
この機会にごゆっくりご高覧いただけましたら幸いに存じます。

令和二年六月、笠間市と益子町が共同申請した「かさましこ」兄弟産地
が紡ぐ「焼き物語」が日本遺産に認定されました。
「日本遺産」とは地域の歴史的な魅力や特色を通じて文化・伝統を語るス
トーリーを「日本遺産」として文化庁が認定する制度で、両地域で継承・
発展を続けてきた焼き物文化はストーリーの主軸となっています。
この度、笠間稲荷美術館ではかさましこ日本遺産認定を記念した特別展
「笠間焼き物語」を開催し、人びとの生活に寄り添い独自の進化発展を続け
てきた笠間焼と益子焼を紹介します。

笠間焼き物語

笠間稲荷美術館 秋季特別展
かさましこ日本遺産認定記念

【会期】令和2年

10/17(土)～11/29(日)

笠間稲荷神社の変遷 （鳥居）

現在、当社の鳥居は一基ですが、古くは小さな鳥居がその数三百基余り、あたかも鳥居のトンネルのようであったと伝えられています。

以前には、四基の鳥居がありました。

一の鳥居は、大正六年に建てられ、高さ約九メートル、幅約六メートルの鳥居でした。昭和五十七年の地震により亀裂が入り、同年撤去となりましたが、平成二年に再建されました。

その後、一の鳥居をはじめ、二の鳥居、三の鳥居、朱の鳥居の四基は老朽化、そして東日本大震災の影響により損壊、撤去となりました。

その後、平成二十八年十月九日、大勢の皆様のお奉賛のおかげをもちまして、現在の大鳥居が竣功いたしました。

この大鳥居は拝殿の色と同じ、一般的な朱色よりえんじがかった「笠間朱色」の朱塗りで、高さ約十メートル、幅約十二メートルの明神鳥居です。



現在の大鳥居



三の鳥居



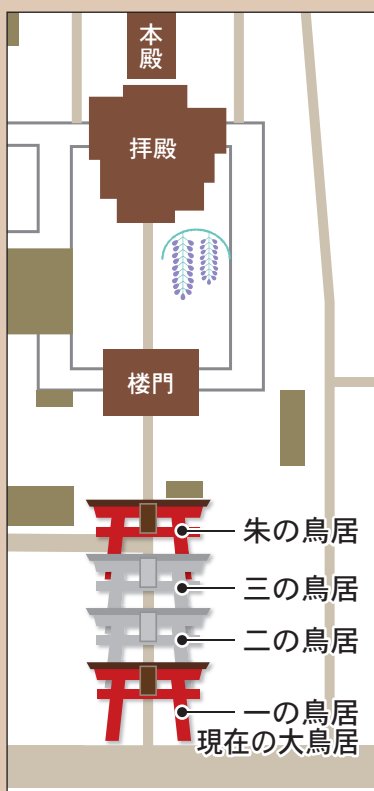
一の鳥居



朱の鳥居



二の鳥居



一の鳥居建設（大正6年）



神社の三密対策にご協力下さい



混雑する時期

時間帯を

避けましょう

年を越す深夜と、正月三が日の特にお昼に近い時間帯に神社は混雑します。
ご都合の良い平日、または休日なら朝方か夕方の参拝をおススメします。
次の人のことを考えて滞在時間もいつもより短くしたいですね。

新しいお札

御守は早めに

受けましょう

伊勢神宮のお神札である神宮大麻は、毎年年末に全国の神社に届けられます。地域によって若干異なりますが、多くの神社では12月には授与が開始されるようです。年越しに向けて人が増える前にお早めにお受けください。

左右に分かれ

間隔をあけて

並びましょう

参拝の方が多い、特に正月には拝殿の正面にだけ列ができている光景が見受けられます。神社の正面真ん中にこだわらず、左右に拡がり参拝いただければみんなが密を避けられます。周囲への思いやりの気持ちをもってご参拝ください。

マスクの着用

こまめな消毒を

お願いします

当社も感染防止の為の対策をとっておりますが、マスクの着用、こまめな消毒、体調のすぐれない方の参拝自粛等皆さん一人ひとりも感染防止の正しい理解と思いやりの気持ちをもった行動をお願いします。

初詣は

三が日・小正月に

こだわらず

初詣とは、簡単に言うと「年が明けて初めて参拝すること」。何日までに行かなければならないという決まりはありません。特に「密」が予想されるお正月三が日はなるべく避けてご自身の体調と都合のよいときにお参りください。



笠間稲荷神社

社報「胡桃」No.46 令和2年10月発行
発行所／笠間稲荷神社社報編集委員会 茨城県笠間市笠間1番地
電話0296(73)0001(代) FAX0296(73)0002 テレホンサービス0296(73)0003
ホームページ <http://www.kasama.or.jp/> Eメール info@kasama.or.jp
編集発行人／塙 東男 本誌の写真、イラストレーション、記事の無断転載を禁じます。

ホームページ

